

大雨への備えに、 止水板を設置しませんか



住宅・店舗・事務所等の 浸水対策に有効です

止水板は、建物の出入口等に設置し、
道路等から流れ込む水の侵入を防ぐ・
軽減するための設備です。

助成制度を有する自治体において、
補助を活用できます。



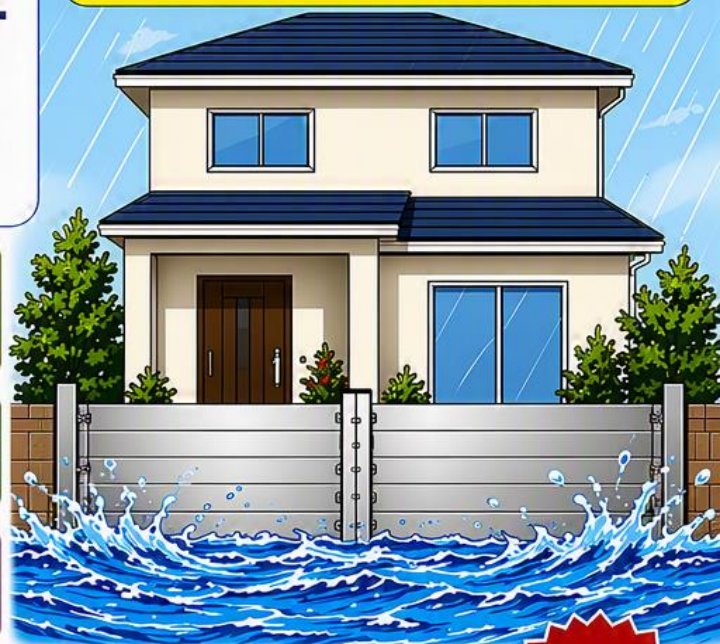
台風・集中豪雨による
浸水被害を軽減



補助制度を活用できる
場合があります



予算・在庫に限りがあります。
早めのご相談・ご注文を！



都内には、概ね **1/2~4/5** の補助率の助成制度を
有する自治体があります

補助で
お得に！

※助成制度の有無・補助率・上限額・対象設備・受付状況は自治体により異なります。必ず所在性の区市町村にご確認ください。

自己負担イメージ

※補助上限額の範囲内で補助を受けられる場合の例

設置費用	1/2	3/4	4/5
20万円	10万円	5万円	4万円
50万円	25万円	12.5万円	10万円
100万円	50万円	25万円	20万円

※実際の自己負担額は、設置費用、補助率、補助上限額、対象経費、自治体の制度内容により異なります。

住宅向け

設置費用目安

20~40万円

自己負担例

1/2 : 10~20万円

4/5 : 4~8万円

集合住宅向け

設置費用目安

40~80万円

自己負担例

1/2 : 20~40万円

4/5 : 8~16万円

店舗・事業所向け

設置費用目安

80~150万円

自己負担例

1/2 : 40~75万円

4/5 : 16~30万円

重要

補助制度がある自治体でのみ活用できます。

制度の有無や補助内容は、必ず区市町村にご確認ください。

補助制度を**活用する**場合の 一般的な流れ



申請から補助金交付まで

1



自治体の制度を確認

所在地の市町村等に、止水板等の助成制度があるか確認します。

2



事前相談

対象設備、補助率、補助上限額、必要書類、受付状況を確認します。

3



見積り・現地確認

設置場所の幅・高さ・構造を確認し、製品仕様と概算費用を確認します。

4



補助金申請

工事着手前に、必要書類を添えて申請します。

5



交付決定

自治体の審査後、交付決定を受けます。交付決定後に工事へ進みます。

6



製品手配・設置工事

在庫調達・製品手配の後、設置工事を行います。

7



完了報告・現地確認

工事完了後、必要書類を提出し、現地確認を受けます。

8



補助金の交付

確認後、補助金が交付されます。



設置までには 時間がかかります

- 補助金申請・交付決定：自治体により異なります。
- 在庫調達・製品手配：数日～数週間程度
- 設置工事：1～2日程度

**大雨シーズン前の早めの
相談・注文をおすすめします。**

！ 注意

- 交付決定前に工事を始めると、補助対象外となる場合があります。
- 予算に達した場合、受付終了となる場合があります。
- 在庫状況や製作期間により、設置まで時間を要する場合があります。
- 自治体により、対象となる止水板の種類や性能要件が異なります。
- 詳細は、必ず所在地の区市町村窓口にご確認ください。

💡 制度の仕組み

東京都は、止水板等の助成制度を持つ区市町村を支援しています。

自治体補助

自己負担



都が支援

※費用負担のイメージであり、実際の割合と異なる場合があります。



予算及び在庫の状況もあります。早めのご相談・ご注文を！

補助率・上限額・受付状況は自治体により異なります。所在地の区市町村にご確認ください。

お問合せ先

東京都 都市整備局 都市基盤部 調整課 施設計画担当 電話：03-5388-3386

※各自治体の助成制度の内容等については、所在地の区市町村へご確認をお願いします。



※止水板設置に関する詳細はこちら